

会議録（要点筆記）

会 議 名	第2回 米原市部活動地域移行検討委員会
開 催 日 時	令和6年11月25日（月）19時00分～20時45分
開 催 場 所	米原市役所3階 会議室3-C
出 席 者	出席者： 谷川尚己委員、樋口昭委員、辻村真衣委員、早崎有紀委員 横田仁司委員、中島裕次委員、堀江広明委員、田中理華委員 事務局： 口分田 剛教育部長 学校教育課 北川英樹課長、谷本政信コーディネーター 谷川俊浩主幹、小林匡司主幹 スポーツ推進課 平山健治課長補佐
議 題	報告事項 ・米原市部活動地域移行アンケートの結果報告について 協議事項 ・米原市部活動地域移行に向けての検討事項について
会 議 内 容	1 開会あいさつ（教育部長あいさつ） 2 報告事項 ○部活動地域移行アンケートの結果報告 ・【資料2】部活動地域移行アンケート調査の概要に基づき、調査目的、調査時期、調査対象、回答者数について説明を行った。 ・【資料2】1ページから12ページに基づき中学校生徒のアンケート結果について説明を行った。 ・【資料2】13ページから19ページに基づき小学校児童のアンケート結果について説明を行った。 ・【資料2】20ページから33ページに基づき中学校教職員のアンケート結果について説明を行った。 ・【資料2】34ページから40ページに基づき小学校教職員のアンケート結果について説明を行った。 ・【資料2】41ページから59ページに基づき中学校保護者のアンケート結果について説明を行った。 3 協議事項 ○米原市部活動地域移行に向けての検討事項について 部活動地域移行アンケートの結果から、本市における地域移行に向けての検討事項を「持続可能な体制づくり」「充実した環境づくり」「魅力的な人づくり」の3つの観点から検討を進めた。十分に議論が深まらなかったため、次回の検討委員会でも引き続き検討を進めることになった。

委員意見等	<p>○アンケートの結果から、学校主体で取り組んでいる部活動に対して厳しい意見があることを感じた。また、総合型スポーツクラブとしては、地域移行に向けてのハードルの高さを同時に感じた。特に、地域の指導者が、子どもたちのために教育的な指導ができるのか不安を感じた。(委員)</p> <p>○まずは、令和7～8年度の取り組みを考える必要があるが、国が示すことになる令和9～14年の改革実行期間の6年間を合わせた、8年間を見据えて方針を考える必要がある。(委員)</p> <p>○一斉に地域移行をさせることは難しい。まずは、地域連携を進めながら、少しずつ部活動を地域に展開していくことを考えていくべきだと思う。(委員)</p> <p>○地域移行の際には、学校と地域団体の連携の中で先生たちからの指導を子どもの個別の情報だけでなく、これまでの指導の実績も共有していく必要があると感じる。(委員)</p> <p>○地域の指導者に子ども達を預かっていただく中で、健康面については把握してもらう必要がある。学校からの情報提供というよりは、保護者から情報を得る形で進める方が良い。(委員)</p> <p>○地域指導者の育成のためにも、研修の機会を作れると良い。(委員)</p> <p>○アンケートの結果から、地域移行に向けて、様々な考えがあるため、まとめ方が難しいと感じた。過渡期には、たくさんの意見が出てくることが想像されるし、全員が納得することも難しいと思う。(委員)</p> <p>○少年団の団員には、部活動など地域で活躍して欲しい。(委員)</p> <p>○学校と地域の連携については、現場で地域と学校の分担がうまくできていないように感じる。地域の指導者が子どもたちへの指導をどこまでするべきか迷っている。学校と地域で、指導方針や活動のルールを確認する場が必要であると思う。また、先生方にとって、部活動は大きな負担だということが分かった。どのような業務が地域団体に担えるのかが分からないし、やれることは限られている。しかし、学校と擦り合わせをして連携をして指導ができると良い。(委員)</p> <p>○アンケートの結果から、それぞれの立場で大きく意見が違うことを感じた。様々なニーズのある子どもや保護者に活動を提供しなければならないので、ニーズに合わせた活動を提供できるような方策を考える必要がある。また、指導者の確保も大きな課題だと思う。地域の方々も仕事等で忙しい中で指導者を引き受けられるのか大変疑問に感じる。(委員)</p> <p>○これまでの部活動は、部活動を通じて「人間教育」を行ってきた。様々な意見があり、どのような方針で地域移行を進めるべきか分からないところはあ。ただ、現場の教員の部活動に対する意識は変化しており、何か体制に変化を加える必要は必ずある。(委員)</p>
-------	---